

---

## 「小児アトピー性皮膚炎の病態把握および治療選択におけるバイオマーカーの探索」

### に関するお知らせ

---

このたび、当院での以下の先行研究において、2023年2月28日までに試料と情報の二次利用の承諾を得ている方の試料(検体)・情報(データ)を用いた以下の研究を実施いたします。

本研究は、埼玉医科大学病院 IRB の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、残余検体やカルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

#### 研究の概要について

##### 1. 研究の対象となる方

アレルギー疾患に関する当院での以下の先行研究において、2023年2月28日までに試料と情報の二次利用の承諾を得ている18歳以下の患者さん

病院 IRB 申請番号：

17090「食物アレルギー児に対する食物経口負荷試験の意義と症状発現予知因子の解明」

対象となる患者さんの数:20例

##### 2. 研究の目的

小児のアトピー性皮膚炎は 早期発症一過性型、乳児期早期発症持続型、後期発症型、頻回ではない型の4つに分けられます。しかし、各タイプにおける患者さんの特徴や治療薬の選択基準も明確ではありません。この研究は、小児アトピー性皮膚炎患者に対して4つのタイプにおける病勢の把握、さらに治療の選択および中止時期を決定するための指標を明らかにすることが目的です。

##### 3. 研究期間

病院長の許可後～2027年3月31日まで、研究の実施を予定しています。

#### 研究に用いる試料・情報について

##### 1. 試料・情報の内容

試料・情報：当院での先行研究にて二次利用の承諾を得ている患者さんの残余血液と診療情報。

この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学病院において、研究責任者である板澤寿子が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

##### 2. 試料・情報の取得方法

病院 IRB 申請番号 :17090

「食物アレルギー児に対する食物経口負荷試験の意義と症状発現予知因子の解明」に参加された患者さんのうち、2023年2月28日までに試料と情報の二次利用の承諾を得ている18歳以下の患者さん

### 3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

埼玉医科大学病院 小児科 板澤 寿子（研究責任者）  
盛田 英司  
植田 穰  
古賀 健史  
岡田 慶介  
清水 貴寛  
小川 俊一

### 4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学病院 小児科 板澤 寿子（研究責任者）

#### お問い合わせについて

ご自身の検体やカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

ご希望があれば、他の患者さんの個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲で、研究計画書や研究の方法に関する資料を閲覧することができますので、以下の連絡先までご連絡ください。

埼玉医科大学病院 小児科 板澤 寿子

住所：〒350-0495 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷 38 番地

電話：049-276-1283（土日祝日を除く 8：30～17：30）

○研究課題名：小児アトピー性皮膚炎の病態把握および治療選択におけるバイオマーカーの探索

○研究責任者：埼玉医科大学病院 小児科 板澤 寿子